

第19期決算公告

2024年3月21日

東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル 17階
 ビルバオ・ビスカヤ・アルヘンタリア銀行 東京支店
 Banco Bilbao Vizcaya Argentaria, S.A.
 日本における代表者： 龍 道夫

貸借対照表 (2023年12月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
現金預け	2,133	預当座預金	-
現金預け	-	普通預金	-
預	2,133	貯蓄預金	-
一口	-	通知預金	-
買現先勤定	-	定期預金	-
債券借取引支保証	-	その他の預金	-
買入金手形	-	譲渡性預金	-
買入金有価証券	-	一口マネ	-
商商品国債	-	売現先勤定	-
商商品地方債	-	債券借取引受入担保	-
商商品政府保証債	-	売渡手形	-
その他の商品有価証券	-	コマージュ・ペーパー	-
金銭の債	-	借 用 金	-
有価証券	-	再割引手形	-
国債	-	借 入 金	-
地方債	-	外 国 為 替	-
短期社債	-	外 国 他 店 預 り	-
株式	-	外 国 他 店 借 付	-
その他証券	-	売渡外 国 為 替	-
貸 出 手 形 付 越 替 け	6,283	未払外 国 為 替	-
割引手貸付	-	そ の 他 負 債	111
手証書貸付	6,283	未決済為替借	-
当座貸	-	未払法人税等	9
外 国 為 替 替 替 替	34	未払費用	7
外 国 他 店 預 け	34	前受収益	91
外 国 他 店 貸 付	-	従業員預り	-
買入外 国 為 替	-	給付補填備	-
取立外 国 為 替	-	先物取引受入証拠	-
そ の 他 資 産	21	先物取引差金勘	-
未決済為替貸	-	借入商品債券	-
前払費用	2	借入有価証券	-
未収収益	-	売付商品債券	-
先物取引差入証拠	-	売付債	-
先物取引差金勘	-	金融派生商品	-
保管有価証券等	-	金融商品等受入担保	-
金融派生商品	-	リース債	-
金融商品等差入担保	-	資産除去債務	-
リース投資資産	-	その他の負債	2
そ の 他 の 資 産	18	賞 与 引 当 金	25
有形固定資産	13	退職給付引当	32
建物	-	特別法上の引当	-
土地	-	金融商品取引責任準備	-
構築物	-	繰延税金負債	-
リース資産	-	支払承	622
建設仮勘定	-	本 支 店 勘 定	8,026
その他の有形固定資産	13	本 店	8,026
無形固定資産	28	在 日 支 店	-
ソフトウェア	28	在 外 支 店	-
のれん	-	小 計	8,818
リース資産	-	持 込 資 本 金	2,000
その他の無形固定資産	-	繰 越 利 益 剰 余 金	△ 1,712
前払年金賞	-	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	-
繰延税金賞	-	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	-
支払承	622	土 地 再 評 価 差 額 金	-
支店	△ 122		
本 支 店 勘 定	92		
本 店	45		
在 日 支 店	-		
在 外 支 店	47		
合 計	9,106	合 計	9,106

損益計算書

2023年1月1日から

2023年12月31日まで

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
経 常 収 益	151	国債等債券償還損	-
資金運用収益	130	国債等債券償却	-
貸出金利息	123	金融派生商品費用	-
有価証券利息配当金	-	その他の業務費用	-
コールローン利息	-	営業経費	214
買現先利息	-	その他経常費用	118
債券貸借取引受入利息	-	貸倒引当金繰入額	118
買入手形利息	-	貸出金償却	-
預け金利息	1	株式等売却損	-
金利スワップ受入利息	-	株式等償却	-
外国為替受入利息	-	金銭の信託運用損	-
本支店為替戻受入利息	5	その他の経常費用	-
その他の受入利息	0		
役務取引等収益	18	経 常 利 益	-
外国為替受入手数料	-	(又は経常損失)	(431)
内国為替受入手数料	-	特 別 利 益	-
その他の役務収益	18	固定資産処分益	-
その他業務収益	-	負ののれん発生益	-
外国為替売買益	-	金融商品取引責任準備金取崩額	-
商品有価証券売買益	-	その他の特別利益	-
国債等債券売却益	-		
国債等債券償還益	-	特 別 損 失	-
金融派生商品収益	-	固定資産処分損	-
その他の業務収益	-	減損損失	-
その他経常収益	1	金融商品取引責任準備金繰入額	-
貸倒引当金戻入益	1	その他の特別損失	-
償却債権取立益	-		
株式等売却益	-	税引前当期純利益	-
金銭の信託運用益	-	(又は税引前当期純損失)	(431)
その他の経常収益	-	法人税、住民税及び事業税	1
		法人税等調整額	-
経 常 費 用	583	法 人 税 等 合 計	1
資金調達費用	244	当 期 純 利 益	-
預金利息	-	(又は当期純損失)	(432)
譲渡性預金利息	-	繰越利益剰余金(当期自然)	△ 1,279
コールマネー利息	-	本 店 へ の 送 金	-
売現先利息	-	(又は本店からの補填金)	(-)
債券貸借取引支払利息	-	繰 越 利 益 剰 余 金	△ 1,712
売渡手形利息	-		
コマースャル・ペーパー利息	-		
借入金利息	-		
金利スワップ支払利息	-		
外国為替支払利息	-		
本支店為替戻支払利息	244		
その他の支払利息	-		
役務取引等費用	0		
外国為替支払手数料	0		
内国為替支払手数料	0		
その他の役務費用	0		
その他業務費用	3		
外国為替売買損	3		
商品有価証券売買損	-		
国債等債券売却損	-		

注記事項

- (1) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
- (2) 会計方針に関する事項
 - ① 有形固定資産の減価償却の方法：定額法を採用しております。
 - ② 外貨建資産等の本邦通貨への換算基準：外貨建資産・負債は決算日の為替相場による円換算額を付しております。
 - ③ 貸倒引当金の計上方法は、当行の経理規定により、正常先債権及び要注意先債権に対する引当金は本店において一括して計上しております。正常先債権及び要注意先債権以外の債権に対する引当金は個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上いたします。
 - ④ 退職給付引当金の計上方法：従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき、必要額を計上しております。
- (3) 債権のうち、破産更生債権及びこれらに準ずる債権は6,283百万円、危険債権、三月以上延滞債権、貸出条件緩和債権は該当無しであり、その合計額は6,283百万円であります。
- (4) 当座貸越契約及び貸付金に係るコミットメントライン契約は、顧客からの融資実行の申し出を受けた場合に、契約上規定された条件について違反がない限り、一定の限度額まで資金を貸し付けることを約する契約であります。これらの契約に係る融資未実行残高は、14,140百万円であります。このうち契約残存期間が1年以内のものは該当がありません。
- (5) 有形固定資産の減価償却累計額 26百万円

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

東京支店では、貸出金、外国為替（貿易取引）等を取り扱う銀行業務を行っております。当該業務にあたり、東京支店では運用と調達を通貨、元本金額及び利受け期間について一本ずつマッチさせて管理しております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

東京支店では国内外の顧客に対する貸付金等の金融商品を保有しており、顧客の契約不履行によってもたらされる信用リスク並びに金利の変動リスク、市場価格の変動リスク等の市場リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

① 信用リスクの管理

貸付金は、本店リスク管理部門が定めた信用リスク管理に関する内部規定に従い、同部門が構築した信用リスク評価モデルを用いて、信用リスクを評価しています。東京支店では香港クレジット部のサポートの下、信用リスクの最新状況を把握し管理しています。

② 市場リスクの管理

東京支店では資産に対し通貨、元本金額及び利受け期間について一本ずつマッチさせた調達を実行することにより市場リスクを回避しております。

③ 資金調達に係る流動性リスクの管理

東京支店では、資産に対し通貨、元本金額及び利受け期間について一本ずつマッチさせた資金調達を当行本支店から行うことを基本としており、これにより流動性リスクを回避しております。また、急な円資金の需要に対応できるよう国内銀行に借入枠を設定しております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2023年12月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額は、次のとおりであります。

(百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金預け金	2,133	2,133	—
(2) 貸出金	6,283	6,283	—
(3) 外国為替	34	34	—
(4) 本支店勘定	92	92	—
資産計	8,543	8,543	—
(1) 本支店勘定	8,026	8,026	—
負債計	8,026	8,026	—

(*) デリバティブ取引はありません。

(注1) 金融商品の時価の算定方法

資産

(1) 現金預け金

満期のない預け金については、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(2) 貸出金

貸出金のうち、変動金利によるものは、短期間で市場金利を反映するため、貸出先の信用状態が実行後大きく異なっていない限り、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。固定金利によるものは、貸出金の種類及び内部格付、期間に基づく区分ごとに、元利金の合計額を同様の新規貸出を行った場合に想定される利率で割り引いて時価を算定しております。なお、残存期間が短期間（1年以内）のものは、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

また、破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に対する債権等については、見積将来キャッシュ・フローの現在価値又は担保及び保証による回収見込額等に基づいて貸倒見積高を算定しているため、時価は決算日における貸借対照表価額から現在の貸倒見積高を控除した金額に近似しており、当該価額を時価としております。

(3) 外国為替

外国為替は、他の銀行に対する満期のない預け金（外国他店預け）であり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(4) 本支店勘定

本支店勘定は満期のない預け金及び約定期間が短期間（1年以内）であり、それぞれ時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

負債

(1) 本支店勘定

本支店勘定は当行本店からの長短期の借入金です。変動金利による長期借入金については、短期間で市場金利を反映していることから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額を時価としております。固定金利によるものは、一定の期間ごとに区分した当該長期借入金の元利金の合計額を同様の借入において想定される利率で割り引いて現在価値を算定しております。短期借入金は約定期間が短期間（1年以内）であり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(注2) 金銭債権の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超	2年超	3年超	4年超	5年超
		2年以内	3年以内	4年以内	5年以内	
現金預け金	2,133	—	—	—	—	—
貸出金	6,283	—	—	—	—	—
外国為替	34	—	—	—	—	—
本支店勘定	92	—	—	—	—	—
合計	8,543	—	—	—	—	—

(*) 現金預け金、外国為替及び本支店勘定のうち満期のない預け金については、「1年以内」に含めて開示しております。

(注3) 本支店勘定及びその他の有利子負債の決算日後の返済予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超	2年超	3年超	4年超	5年超
		2年以内	3年以内	4年以内	5年以内	
本支店勘定	8,026	—	—	—	—	—
合計	8,026	—	—	—	—	—